

「アジア太平洋地域の広域経済連携～21 世紀の先進モデルを模索する」

(外務省主催、経団連後援)

平成 22 年 3 月
外務省

1. シンポジウムの概要

(1) テーマ

「アジア太平洋地域の広域経済連携～21 世紀の先進モデルを模索する」

第一部：広域経済連携の将来

第二部：広域経済連携の実現に向けた課題

(2) 日時

3 月 17 日 (水) 13 時～16 時半

(3) 場所

三田共用会議所 (東京都港区三田 2-1-8)

2. 各セッションの目的と進行

13:00～13:05 開会挨拶 吉良大臣政務官 (予定)

13:05～13:30 基調講演 岡本行夫 (岡本アソシエイツ代表取締役)

13:30～14:50 パネルディスカッション (80 分)

「広域経済連携の将来」

アジア太平洋地域には、既存の ASEAN+1 の各 EPA/FTA に加え、CEPEA (ASEAN+6)、EFTA (ASEAN+3)、アジア太平洋自由貿易圏構想 (FTAAP)、環太平洋経済連携協定 (TPP)、日中韓 FTA 等、様々な広域経済連携の形態が検討・模索されてきている。これらの意義及びあるべき姿について、アジア成長戦略と関連づけつつ討議。

<パネリスト>

浦田秀次郎・早稲田大学教授、寺田貴・早稲田大学教授、吉崎達彦・双日総研副所長

<モデレーター>

鈴木庸一 外務省経済局長

14:50～15:00 コーヒーブレイク

15:00～16:20 パネルディスカッション (80 分)

「広域経済連携の実現に向けた課題」

アジア太平洋地域における広域経済連携の実現に向けて、地域に存在する多様性 (経済発展の段階、政治体制等) にどう対応していくか、多角的貿易体制との関係をどう整理するか、日本経済の活性化や構造改革にどうつなげるか等について考察。

<パネリスト>

木村福成・慶應義塾大学教授、渡邊頼純・慶應義塾大学教授、本間正義・東京大学教授

<モデレーター>

鈴木庸一 外務省経済局長

16:20～16:30 全体を通じた質疑応答

(了)